

生した銀座線の新駅を見学した。この駅は両線のほか、千代田線、丸ノ内線の国会議事堂前駅と接続する大規模な乗換駅で、南北線は駅部のほか折返し線を地下二階、その上を地下通路形式にした全長約600mの開削工法の駅、銀座線は既設線路と土被りの関係から地下一階をホーム、地下二階をコンコースとした珍しい駅である。営団としては人にやさしい地下鉄をめざしており、特にこの両駅は地元企業等の協力を得てホームやコンコースの壁を絵画で彩り、アートステーションとして安らぎを与えている。

次に永田町駅まで複線シールドトンネルを約260mウォークし、途中トンネル内の連結送水管や安全対策設備について説明を受けた。到着した永田町駅は首都高トンネルと半蔵門線の間を貫いて築造する駅であり、参加者には駅シールド工法を採用した理由やその工法について説明があった。永田町駅からは、軌道工事用モーターカーに座席を配置したダンプトロを連結、弁慶濠下の単線トンネル部を往復1600mにわたり体験試乗してもらった。トンネル内の風を切り、電車の窓越しでないトンネル風景に子どもたちは大喜びしていた。

永田町駅からはさらにバスに乗り、麻布駅(仮称)で世界最大断面の親子抱込み式泥水シールド工事(親機外径φ14.18m、子機外径φ9.70m)を見学した。見学者は地下要塞のような処理設備やコンピューター管理している中央制御室を見て、そのスケールの大きさと土木技術の進歩に驚きの表情を見せていた。

営団でのトンネルウォークは平成3年の南北線赤羽岩淵・駒込間開業以来3度目の実施である。地下鉄建設の大



変さや土木技術をアピールするうえで今回初めてモーターカー試乗や工事現場見学を組合わせて実施したが、大好評であった。

(帝都高速度交通営団 建設本部工事部工事管理課 課長補佐 中山康隆)

産・官・学が参加し、「技術交流会」を開催

N E W S

8月29日、徳島県建設センター(徳島市)で、四国支部(主として徳島地区)の産・官・学を交えた第一線の土木技術者が集まり、日常の業務と学会活動について、平成8年度に引続き第2回目の意見交換を行った。

当日は110名の会員が参加し、①橘湾火力発電所の建設について、②最近の公共事業をとりまく諸情勢について、③土木学会誌の編集に携わって、と題した話題提供があった。

①では、岩下修電源開発(株)橘湾火力建設所長から、比較的短期間に大規模の集中的な工事を実施するために採用した、各種の工法の特徴および試験の概要について説明があった。②では瀬部幸生徳島県徳島土木事務所長から、最近の「公共事業不要論」に対し、徳島県の社会資本の基盤整備の遅れた現状のなかで、公共事業の果たす役割の重要性と今後どのように公共事業を進めるべきか等について話があった。また、水口裕之徳島大学教授から③のテーマで土木学会誌の目的、編集方針、記事が掲載されるまでのプロセス、苦労話等日頃学会誌の編集作業に無縁な者には興味深い話があった。

これらの話題提供を受けた後、会場を変え、講演者を囲み、最近の技術情報・社会基盤整備のあり方・学会活動



等について真剣ななかにも和気あいあいとした雰囲気の中で議論が弾み、有意義な集まりとなった。

(徳島県 土木部建設管理室技術室長補佐 意見敬三)

「四国の地震防災に関するシンポジウム」を開催

N E W S

8月8日に松山市、8月22日に高知市で四国の地震防災シンポジウムが開催された。四国の地震と活断層、四国に被害をもたらした地震・津波、地震動予測と橋梁の被害、四国都市域の液化化予測、四国の地震防災計画の概要に関する話題提供がなされた後、参加者との活発な討議がなされた。両会場であわせて300名を超える参加者があり、市民の地震防災への意識の高まりを実感させられるとともに、南海沖地震は避けて通れない大地震であるということを再認識させられた。

四国には南海トラフと中央構造線という大地震を引き起こす震源が2つある。しかし、行政も含めて四国の住民の地震防災に対する意識はこれまで決して高くはなかった。兵庫県南部地震を契機として、四国の地震防災に関して検討が必要との機運が高まった。そこで、平成7年8月に四国地建の委託を受けて、土木学会四国支部に「あんぜん四国検討委員会」(委員長:愛媛大学教授八木則男氏)が設立された。あんぜん四国検討委員会は四国の地震防災を検討する委員会であり、地質部会、地震動・構造物部会、地盤部会、歴史部会、行政防災部会の5部会で構成されている。今回の地震防災シンポジウムは、委員会の2年間の成果を広く市民に問うために開催したものである。2年間の検討成果は、シンポジウムテキスト「予想される四国の地震と防災対策」にまとめられている。希望者は四国支部事務局にお問合わせ下さい。

(愛媛大学 工学部環境建設工学科教授 矢田部龍一)